

おうちのかた向け



『きょうもかぜはいろづいて』

阿部 海太/作 岩波書店

いま、私に触れている風は何色だろう。考えたこともありませんでした。でも、この絵本を開いて風の色を感じてみると、なぜだか懐かしいような愛おしいような、不思議な気持ちになるのです。私たちは無意識にいつも、風を感じているのかもしれないね。あなたの世界に吹いた新しい風は、何色でしょうか？



『とびきりおいしいおうちおやつ』

野村 友里/著 小学館

ケーキやゼリー、おだんごにプリン。とびきりおいしいおやつを、おうちで作ってみませんか？この本では、とっておきのおやつの作り方が、図とともにわかりやすく解説されています。眺めているだけで幸せになれそう…。でも食べたらきっと、もっと幸せ。お菓子作りの入門に、おすすめの一冊。



『はいくないきもの』

皆川 明/絵 谷川 俊太郎/文 クレヨンハウス

この絵本に並んでいるのは、不思議な生きものたちと言葉たち。それは、さまざまな願いがかたちになり、言葉になった姿です。五七五のリズムで綴られた不思議な響きからは、生きものたちのしなやかさや、歩み続ける力強さが感じられます。声に出して味わいながら、お気に入りのページを見つけてみて下さい。

おすすめの絵本



燕市の図書館から赤ちゃんとおうちのかたへ
おすすめの絵本をご案内いたします



本の検索や予約
図書館ホームページ



イベント情報
X (旧Twitter)



電子書籍
電子図書館



赤ちゃんにおすすめ絵本
燕市ホームページ

お問合せ 燕図書館 0256-62-2726 吉田図書館 0256-92-7650 分水図書館 0256-97-7701

0さい～2さい向け



『たまごっこ』

ふるや かおる//文 あずみ虫//絵 アリス館

「ぼく」はしゃがんでまるまって、たまごに大変身！お母さんがあたためると…たまごから生まれてきたのは、ひよこ、きょうりゅう。そして…！？たまごをあたためるように、お子さんをぎゅっと抱きしめながら読めば、素敵なふれあい時間に。絵と色使いもかわいらしい、あたたかな絵本です。



『へっこぷっとたれた』

こが ようこ//構成、文 降矢 なな//絵 童心社

おいっちに、おいっちに、とやって来たのはきのこさん。そして…「ぷっ」！繰り返しのリズムカルな文章と、赤ちゃんも大好きな「ぷっ」という破裂音。おまけに、へっこ（おなら）が出る時のポーズや表情がかわいくて、読んでいる大人まで楽しくなっちゃう。何度も開きたくなる魅力にあふれています。



『かぼちゃのだいおう』

おいわ じゅんこ//作 ほるぶ出版

「かぼちゃ かぼちゃ かぼちゃのだいおう」かぼちゃをかぶって、「かぼちゃのだいおう」になっているのは誰かな。ねこさん？おばけさん？そして…？！あたたかみのある布を使ったコラージュが使われており、初めてのハロウィン絵本にもぴったり。お子さんと一緒に、季節の行事を絵本で楽しめます。

3さい～5さい向け



『おちば』

おーなり ゆず//ぶん はた こうしろう//え ほるぶ出版

ページをめくると飛び込んでくるのは、鮮やかに色づいた秋の景色。そして、おちばの匂い、音、感触までもが伝わってきます。おちばを集めて、空に飛ばす。集めたおちばに飛び込んでみる。ただそこにおちばがあるだけで、こんなにも楽しいなんて。秋の豊かさ、自然と遊ぶ楽しさがたっぷり詰まっています。



『へんしんする ゆび』

宇田 敦子//さく 寄藤 文平//デザイン 福音館書店

真ん中に穴があいた、不思議な見た目の絵本。穴にそっと指を入れてみましょう。するとびっくり！入れた指が、絵本の一部になるのです。ページをめくるたび、指はいろいろなものに変身していきます。次は何に変身するのだろうか？子どもはもちろん大人もわくわく。一緒に夢中になることまちがいないです。



『ポコタのきのみ』

しもかわら ゆみ//作 世界文化社

ねずみとりすが、冬に備えて木の実を蓄えていることを知った、たぬきのポコタ。真似しようとしても、うまくいなくて…。この絵本が伝えてくれるのは、みんなそれぞれにすばらしい個性と才能があるということ。相手を知り認め合う優しいやりとりと、美しい秋の森の風景をじっくり味わえる一冊です。